

第21回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

主催:一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

当セミナーは今年度で21回目を迎えます。特に今年は日本植民地下の朝鮮で独立運動(1919年3月1日、3・1独立運動)が起こって100年の年になります。昨今、戦後補償問題やヘイトスピーチに代表される民族差別が多く発生する背景には、歴史認識の問題が大きな原因となっています。そういった意味では「3・1独立運動」の意義を今、改めて考える必要があるかと思えます。

また、いわゆるニューカマー外国人の増加にあたって、さまざまな人権問題が発生しています。今回のセミナーでは、在日外国人問題の原点である「在日コリアン」の人権問題を中心にしながら、さまざまな立場の外国人問題にもスポットをあてていきたいと思えます。

一 開 催 要 項 一

【日 程】

第1期 2019年 7月11日(木) 12日(金)

第2期 2019年 11月19日(火)

第3期 2020年 3月10日(火)

【会 場】 貸会議室内海2階教室

東京都千代田区三崎町3-6-15 東京学院ビル2階
TEL03-3261-0017 JR「水道橋駅」西口徒歩1分

【定 員】 80人

【参 加 費】 ・受講料 27,000円(全講義)

・聴講料 a 3,000円(1講義)

・聴講料 b 6,000円(フィールドワーク)

・聴講料 c 4,000円(講義⑧の上映会とトーク)

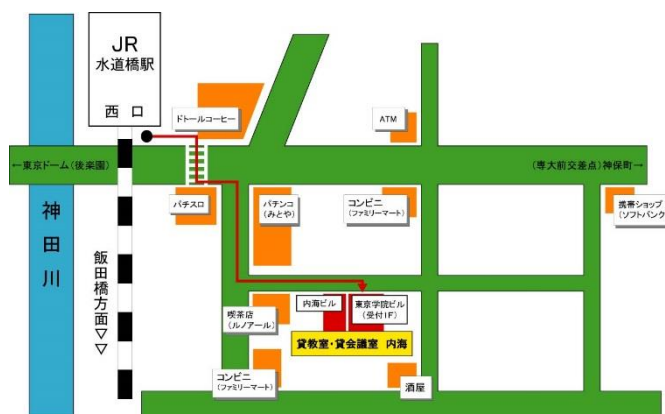
*KMJ会員の方は1割引です。

【お申込み方法】

7月1日(月)までに別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の申込先まで郵送又は、FAXにてお申し込み下さい。請求書をお送りさせていただきます。受講料(聴講料)につきましては、下記の銀行口座にお振り込み下さい。当日のお支払いもご対応させていただきます。領収書は、当日、資料と一緒に渡いたします。なお、当日は受付にてお名前をチェックさせていただくことで参加確認をさせていただきます。

☆お振り込み先

三菱UFJ銀行	生野支店	普通預金	3936599
名 義	一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター		
理事長	仲尾宏		



【第1期講座】

一日目（7/11）

講義① キャンパスヘイトとフェイク問題について

講 師 ヤン ヨン ソン
梁 英 聖さん（反レイシズム情報センターARIC代表）

急増する SNS でのデマやフェイクニュースにより、今、大学生間でも特定の民族へのヘイトスピーチや差別問題が多々発生しています。日々深刻化する民族差別は、もはや大学空間の中ですらも日常茶飯事です。それらに対して大学生はどう対抗できるのか、この様な取り組みをされている梁英聖さんに、具体事例などを紹介してもらいながら、お話ししていただきます。

【プロフィール】

一橋大学大学院言語社会研究科博士後期課程。反レイシズム情報センター（ARIC）代表。2016 年 12 月影書房より『日本型ヘイトスピーチ——社会を破壊するレイシズムの登場——』を出版。在日コリアン 3 世として日本社会の反レイシズム運動に取り組み、レイシズムの研究活動に従事。

講義② 日韓キリスト教史から見た 2・8、3・1 独立運動

講 師 ソ ジョン ミン
徐 正 敏さん（明治学院大学教授）

今年は朝鮮人東京留学生による 2・8 独立宣言の宣布、朝鮮全土を揺るがした 3・1 独立運動（1919 年 2 月 8 日、3 月 1 日）から、100 周年を迎えます。これらの運動には、キリスト教徒が中心を担いました。当研究の第一人者である徐正敏さんから、日韓キリスト教史の視点からこの運動の意義とこれからの日韓関係についてお話をうかがいます。

【プロフィール】

1956 年韓国大邱生まれ。延世大学神学科、同教育大学院、同大学院博士課程修了。同志社大学神学博士(Ph.D.) 学位取得。延世大学教授、明治学院大学招聘教授、韓国基督教歴史学会会長を歴任。日本語による主な著書に、『民族を愛した韓国キリスト者たち』（日本キリスト教団出版局、1991 年）など。

講義③ ふたつの日本 「移民国家」の建前と現実

講 師 望月 優大さん（ライター）

日本政府はいまだに頑として認めませんが、日本社会はすでに「移民国家」です。この 30 年間で在日外国人の数は 94 万人から 263 万人へと約 3 倍に増加し、永住権を持つ外国人も 100 万人を突破しました。2019 年春からは外国人労働者の受け入れがさらに拡大されることも決まっています。このような状況の中で、どのような問題が発生し、どうしていけばいいのか、ルポラーターの望月さんにお話しをしていただきます。

【プロフィール】

ライター・編集者。株式会社コモンセンス代表取締役。日本の移民文化・移民事情を伝えるウェブマガジン「[ニッポン複雑紀行](#)」編集長。東京大学大学院総合文化研究科修士課程（地域文化研究専攻）修了後、経済産業省、グーグル、スマートニュースなどを経て 2017 年冬に独立。国内外で移民・難民問題を中心に様々な社会問題取材し「現代ビジネス」や「ニューズウィーク日本版」などの雑誌やウェブ媒体に寄稿。代表を務める株式会社コモンセンスでは非営利団体等への支援にも携わっている。1985 年生まれ。著書に『[ふたつの日本——「移民国家」の建前と現実](#)』（講談社現代新書）』がある。

二日目（7/12）

講義④ フィールドワーク

「神奈川の中の朝鮮—厚木基地と朝鮮学校—」

案 内 中坪 清さん（第 5 次厚木基地爆音訴訟原告団副団長）

山本 重耳さん（高校教員）

戦前、海軍横須賀鎮守府に近い綾瀬村、大和村、渋谷村にまたがる広大な土地に飛行場が作られることになり、1938 年より工事が着工しました。勤労学徒の動員もいたが、工事の主力は「朝鮮人」でした。この飛行場が現在の「厚木基地」です。そのため、この基地の周辺には戦後も多くの朝鮮人が住んでいました。また、近くにあった高座海軍工廠には台湾からの青年たちも従事していました。それらの遺跡を辿りながら、現在に至るまでの歴史と現状について考えたいと思います。

訪問先（予定）

①厚木航空基地－建設土木工事の主力が朝鮮出身者でした。

②草柳小学校の朝鮮人学級の碑－戦後、この小学校には朝鮮人学級が併設されていました。

③台湾亭と慰霊碑－高座海軍工廠に徴用された台湾出身者が帰国後「高座会」を結成し、1997 年に大和市に寄贈した「あずまや」。また当時空襲で犠牲になった台湾少年たちの慰霊碑が善徳寺にある。

④大丸飯場跡－朝鮮人労働者が 300 人、5 棟のバラックに住んでいました。

⑤高座工廠地下壕跡－1942 年、海軍省から神奈川県に海軍航空兵器工場建設の要請があり、地下壕が掘られ、実際、内部で航空機が生産されました。

⑥神奈川朝鮮学園－横浜市にあり、初級学校と中級・高級学校が併設しています。

＊フィールドワークについて

詳細につきましては、お申し込みいただいた方に後日、ご案内します。

【第 2 期講座】（11/19）

講 義⑤ 日朝交流史－中世編－

講 師 仲尾 宏さん（KMJ 理事長）

長い歴史のある日朝の交流史について、仲尾宏さんに 2 回にわけてお話しをいただきます。第 1 回目は中世編です。

【プロフィール】

1936 年生まれ。日朝関係史学者。1960 年同志社大学法学部政治学科卒業。京都造形芸術大学客員教授、KMJ 理事長など。

講 義⑥ 在日コリアンが映し出す日本社会

－ダイバシティ（多様性）が叫ばれる現代社会の中で－

講 師 キム テ ヨン
金 泰 泳さん（東洋大学社会学部教授）

厚労省によれば、2014 年に日本国内の外国人の自殺の状況人口動態統計は全体 233 人中在日コリアンが 144 人で 61.8%を占めています。金さんはその原因として在日がマイノリティであるという社会的背景から来るアイデンティティクライシスを挙げています。その具体的な事例や在日コリアンの歴史背景も含めてお話ししていただきます。

【プロフィール】

1998 年大阪大学大学院人間科学研究科博士課程、1994 年大阪市立大学大学院文学研究会博士課程。現在、東洋大学社会学部社会システム学科。主な著書に『在日コリアンと精神障害』（晃洋書房）など。

講 義⑦ 母の国・ニッポン、父の国・韓国

講 師 はく しん くん
白 眞 勲さん（立憲民主党所属、参議院議員）

現在、国会議員として活躍する白さんに、日本、韓国、在日という3つの立場から、生い立ちや国会議員になる経緯、議員活動、これからの日本と韓国についてお話しをしていただきます。

【プロフィール】

1958年、東京生まれ。日本人の母と、韓国人の父との間で生まれる。日本大学大学院生産工学研究科博士課程修了後、朝鮮日報日本支社に入社。支社長を経て、2003年に日本国籍取得。2004年、参議院議員選挙比例区で当選。

【第3期講座】（3/10）

講 義⑧ ドキュメンタリーの上映とトーク

〔ドキュメンタリー映画上映〕（90分）『H A F U ハーフ』（2013年）

〔トーク〕（70分）^{ソン} 宋 ^ヘ 恵 ^{ヨン} 燕さん（弁護士）

人々が頻繁に世界中を移動する時代となり、日本でもますます人々の移動が盛んになっています。そして、その日本には、両親のどちらかが外国人という人々が多く存在するようになりました。中には外見的に目立つ人もいれば、全く目立たない人もいます。ドキュメンタリー作品『ハーフ』は、このようなハーフたちの複雑な心境や、現代の日本での多文化的な経験を通して、発見の旅へと導きます。本作品は、5人の「ハーフ」たちがかつて単一民族と言われてきた国において、多文化・多人種であるとは、どういうことなのかを探求する日々を追います。ハーフたちの中には日本しか知らない人たちもいれば、日本での生活は全くの未知の世界という人たちもあり、その二つの異なる世界の狭間で生きている人たちもいます。主人公であるハーフたち自身のナレーションと率直なインタビューに、シネマベリターの映像を重ねて、ハーフたちの生い立ちや家族の関係、教育、時には彼らの外見が影響する彼らの体験を探ります。

【スケジュール】

7 / 1 1 （木）	7 / 1 2 （金）	1 1 / 1 9 （火）	3 / 1 0 （火）
9:30 受付開始	後日ご案内します。	9:30 受付開始	13:45 受付開始
9:55 開 会		9:55 開 会	14:15 講義⑧
10:00 講義①		10:00 講義⑤	17:00 終 了
11:50 昼 食		11:50 昼 食	
13:00 講義②		13:00 講義⑥	
14:50 休 憩		14:50 休 憩	
15:00 講義③		15:00 講義⑦	
16:50 閉 会		16:50 閉 会	
17:00 終 了		17:00 終 了	

*フィールドワークの行程は変更する場合がございますのでご了承ください。

第21回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

受講（聴講）申込書

(FAX 06-6717-2702)

☐ 受講（7講義とフィールドワークすべて受講される方です）

☐ 聴講（聴講希望講義番号 _____）

*聴講希望の場合は、講義番号をご記入下さい。例えば、徐先生の講義のみ聴講したい場合は①、フィールドワークの場合は④複数の場合は①②④⑥とご記入下さい。

講義①	キャンパスヘイトとフェイク問題について	梁英聖さん
講義②	日韓キリスト教史から見た2・8、3・1独立運動	徐正敏さん
講義③	ふたつの日本 「移民国家」の建前と現実	望月優大さん
講義④	フィールドワーク 神奈川の中の朝鮮－厚木基地と朝鮮学校	
講義⑤	日朝交流史－中世編－	仲尾宏さん
講義⑥	在日コリアンが映し出す日本社会	金泰泳さん
講義⑦	母の国・ニッポン 父の国・韓国	白愼勲さん
講義⑧	ドキュメンタリーの上映とトーク	映画「H A F U ハーフ」

フリガナ			
受講者		勤務先名 担当部署	
住所 電話 FAX	〒 TEL FAX		

*複数名参加の場合は下記に受講（聴講）者名と担当部署をご記入ください。

受講（聴講）者名	担当部署	受講・聴講
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 _____）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 _____）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 _____）

☐ 第1期講義（7/11 木曜日）終了後の懇親会に参加（ _____ 名）

【連絡先】

一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
 担 当 高敬一（コ・キョンイル）まで
 〒544-0033 大阪府大阪市生野区中川西3-10-18
 TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702
 e-mail : kmj@star.odn.ne.jp URL : http://kmjweb.com